

静岡県広報紙

県民だより

1月号 | 平成9年

■今月の数字 県の推計人口(12月1日現在)

●総数……3,748,525人 ●世帯数……1,222,499戸
 ●男……1,846,886人 ●11月の出生……2,941人
 ●女……1,901,639人 ●11月の死亡……2,168人

編集・発行/静岡県広報課 〒420 静岡市追手町9-6 ☎054(221)2231 FAX054(254)4032 アドレス <http://www.pref.shizuoka.jp/>

着実に築く二十一世紀の静岡



静岡県知事

石川嘉延

明けましておめでとうございます。
 県民の皆様には、それぞれ新年への決意も新たに、よい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、静岡県では二十一世紀に向けて、「未来への挑戦 あふれる活力 輝く静岡」を基本目標とする「新世紀創造計画」を策定し、昨年はその実現の第一歩を力強く踏み出したところであります。

今年は、さらにその目標達成を確実なものとするために、計画を着実に具体化してまいります。

特に、二十一世紀の県土の骨格となる第二東名自動車道、静岡空港など交通ネットワークの整備や、昨年策定いたしました人と自然の共生をうたう「環境基本条例」、人にやさしいまちづくりを目指す「福祉のまちづくり条例」、子育てを支援する「ふじのくにエンゼルプラン」などを積極的に推進し、県民の皆様が活躍する基盤となる社会資本の整備や、福祉、医療、教育など生活に密着したシステムの構築、良好な自然環境の保全などに努めてまいります。

また、昨年開催いたしました「国際オペラコンクール in SHIZUKA」に引き続き、文学の地として名高い伊豆・県東部地域の特色を生かした「伊豆文学フェスティバル」の開催や、「シアター・オリンピックス」の開催準備などを進め、新しい静岡文化を創造し、世界に向けて発信してまいります。

さらに、二十一世紀にかけて計画しております新大学の開学や、がんセンター、全国植樹祭、温泉博覧会、小笠山総合運動公園、国際園芸博覧会などのプロジェクトについても、その実現に向けて着実に取り組んでまいります。

今後とも、県民の皆様から寄せられる声に耳を傾けながら、だれもが真に豊かさを実感できる活力とゆとりに満ちた社会の実現と、全国に誇りうる静岡県づくりを目指して、諸施策を着実に推進してまいります。

皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げますとともに、御健康と御多幸を心からお祈りし、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成九年元旦

お正月行事には、それぞれ 意味があります。

新たな一年の始まり、お正月。県内各地には、古くからの伝統行事がありますが、時代の流れとともに次第に見られなくなるといわれます。伝統行事ばかりがお正月らしさではありませんが、お餅を食べながら、昔ながらのお正月を思ってみるのも楽しいものです。

監修・富山昭(静岡市立高校教諭)
県教育委員会県史編さん室

年神迎え

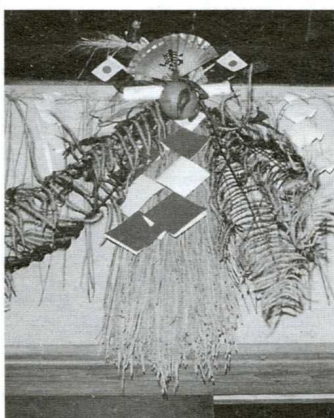
正月行事の根底には、山や海の彼方から正月の神様を迎えて、一年の豊かさや安泰を願うという考え方が古くからありました。いつもの神棚とは別に神棚をこしらえて祭るのが、古風な習わしでした。この棚を「トシガミ(歳神)棚」と呼び、お神酒、鏡餅、雑煮などを供えました。山間地では、桶に入れた里芋を必ず供えるところも。御殿場、小山などでは棚



の両側に、櫛の小枝をつけた藁の人形のような飾りを立てました。こうして迎えた神様は「次郎のツイタチ」(二月一日)に下げてまつり終えます。

注連縄飾り

注連縄は、神様の神聖な場所を示すものです。注連縄に使う稲は、稲刈り前に刈り取った特別のもので、本来は縄をなつのも神聖な



場所で行われました。沼津や戸田方面では家の一室にムシロをひいて主人が注連縄を作りました。「七五三縄」といって、縄から藁の端を七筋五筋三筋の割で垂らす一般的なもののほか、ダイコンシメ、ゴボウシメという中太、先細のものなどいろいろあります。飾る場所も、門口や床の間、歳神棚、かまど、蔵、井戸、物置などで、大きさもいろいろです。

お年玉

今ではお年玉というところが、半はお金になりましたが、特に農村部では古くは「餅」のことを呼んでいた。



静岡市では年始回りの贈答に用いる餅をトシダマ、焼津近辺でも床の間に飾る大きなお重ね(餅)や贈答用のお重ねをオトシダマと呼んでいました。県中・西部で餅つきの際に一家の主人から家族に与えられる「年取り餅」を、菊川周辺ではトシダマと呼んでいます。このほかにもたくさん例があり、この餅が、本来のお年玉なのではと考えられます。餅を食べることで、生き生きと一年を過ごす「年魂」を身に付けるといふ意味があったようです。

門松・オトコギ

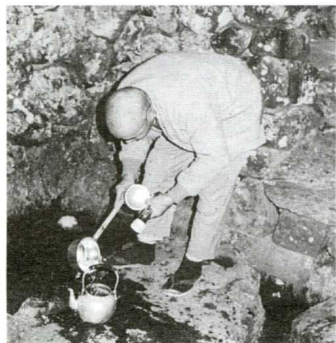
門松は、正月の晴れやかさ、めでたさの象徴でした。しかし、昔のような門松は都市部ではほとんど見かけなくなりました。



県内では農村地域、特に水窪・佐久間方面で、太ぶりな松と竹を栗の木の杭で支えた昔ながらの門松を見ることが出来ます。そこで目につくのは、門松に添えて立つ、七、八メートルに及ぶ二本の杉や桧の白木で、オトコギと呼ばれています。神様の宿る木、また男児の健やかな成長を願うとされるこのオトコギが、空高くそれぞれの家の庭先に並びます。

若水汲み

元日の朝早く、まだ暗いうちから起きだして朝一番の水を汲む。この水を若水といい、まだ水道のない時代には、一家の主人が近くの井戸や川に出て行うべき大事な正月の儀礼でした。福が授かる福水だから、早く行かないと汲まされてしまうと言われ、競うようにして出かけました。汲んできた若水は神棚に供え、残りでお茶を入れた家族で飲みます。



南伊豆の海岸部や浜名湖周辺では、海岸で潮水(潮花・シオバナ)を桶に汲み、神棚やかまどにふりかけた後、家の内にまいて、清めるところもあります。こうしてすべてを清めて新年を迎え初詣にでかけます。

門付け

正月になると、ここからか獅子舞(神楽)がやってきて、太鼓や三味線の音が響く中、派手な動きの獅子が幼子を泣かせたりする。こんな獅子舞をはじめ、様々な芸をして祝儀をもらい歩くことを門付けといい、戦前は県内のあちこちで見られました。

伊勢神楽(獅子舞)、三河万歳(祝言を述べ、滑稽な掛け合いをする)、春駒(馬・駒の首を木で作り、



これにまたがって踊る)、俵巻かし(めでたい歌詞を唄いながら小さな俵を転がし、運勢を占う)などと呼ばれる様々な門付けが、暮れから正月にかけて各地を巡り歩いていました。

県立大学看護学部等(4月新・移設)の一般入学学生募集

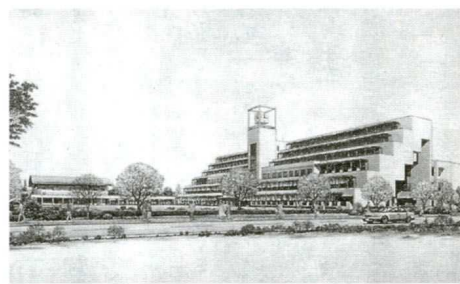
県立大学では、平成9年4月に静岡市谷田の校地内に看護学部を、同市小島に短期大学部静岡校(歯科衛生学科・社会福祉学科)を新設します。また、この短大部静岡校は、現在浜松市にある短大部の第一看護学科と第二看護学科を移設し、医療福祉系の短大として整備します。

●入学試験等の概要

学 部 等		短 大 部 静 岡 校			
学 科	看護	第一看護	第二看護	歯科衛生	社会福祉
修 業 年 限	4 年	3 年	2 年	2 年	2 年
入 学 定 員	6 0 人	6 0 人	4 0 人	4 0 人	1 0 0 人
試 験 科 目	①英 語 ②数 学 ③理 科	①国 語 ②英 語 ③数 学、理 科 から1科目			①国語 ②英語 ③社会、理科 から1科目
願 書 受 付	2月17～21日	1月30日～2月7日			
試 験 日	3月5日	3月2日			
そ の 他	大学入試センター試験は不要 旧課程履修者も受験できるよう出題に配慮 第二看護学科は、准看護婦資格（予定可）が必要				
問 い 合 わ せ	静岡県企画部学術・大学課 ☎054-221-3486				



県立大学



短大部静岡校

●学生募集要項の請求方法

- ・封筒の表に下記①を朱書し、②あてに請求する。
- ・270円分の切手を貼り請求者の住所、氏名、郵便番号を記載した返信用封筒(角型2号:縦33.2cm×横24.0cm)を同封する。

	看護学部	短大部静岡校
①	看護学部一般入学学生募集要項請求	一般入学学生募集要項請求
②	〒422 静岡市谷田52-1 県立大学学生課入試係	〒432 浜松市布橋3-2-3 県立大学短大部学生課

(注) 短大部では過去問題集も配布します。希望者は上記①のほか「問題集希望」と朱書し、返信用封筒の切手は700円分としてください。

七草(七日正月)

正月七日の七草粥は、今でも根強い風習として残っています。

七日は正月の行事が一段落し、接待などで多忙だった主婦たちがようやくひと息つける頃で、県下の広い地域でこの日を「女の年越し」と言っていました。



こうした日に、お供えした様々な供物を入れた粥をつくって、あらためて正月の神様と直会(共食)するのが七草粥で、材料が豊かなことから、これを食べると豊作が約束されるといふ各地の言い伝えも生まれました。餅やお酒で疲れた胃の消化を助ける、先人の知恵とも言われます。

田打講

稲作農家の人たちにとっては、年始めの大切な儀礼。豊作を祈って行われるもので、多くは正月十一日の早朝、戸主が田に出てその年始めの耕作(まねごと)を行い、田の神に豊作を約束してもらおうとするもので



す。今でも、田の中に紙垂れをつけたススキや竹笹が立ち、その根元が掘り起こされて小餅や洗米などが供えられているのを、県内各地で見ることが出来ます。この日はまた、山間部の畑作地帯や、海岸部の漁村でも、似たような仕事始めの儀礼が行われます。

十五日を中心とする頃を
小正月といひます。餅花・花団子、
削り花、祝い木

小正月には、農耕生活に關わりの深い様々な祈願・呪法(まじない)の伝承が残されています。

東部、伊豆地方には、背丈ほどの木に、紅白の米の粉団子、色とりどりの小判、俵、野菜などを飾る「花団

成り木責め
・オカタ打ち

御殿場周辺で今も十五日に行われる珍しい行事にナリモツンがあります。

まだ暗いうち、庭や畑の柿の木の幹にナタで傷をつけ、そこにナリモツンの棒(刀の形に皮をむいた三十センチほどの木の棒)で粥(小豆粥)を塗り付け、棒でトントン叩きます。こうして木を責めて(成り木責め)、「成り申そう」と実がたくさんなることを約束させてしまうもの。この棒で

子(「餅花」)が、今も残っています。

木の表面を削って花のようにして飾る「削り花」は、県内に広く見られます。木の種類や花の形、削り方に、各地各様の特色があります。こちらも、作物の豊かな実りへの願いを現します。

また、県内に広く見られる魔除けに、ニユーギ、門入道、ダイノコなどと呼ばれる祝い木があります。家の門口、神棚、屋外などに飾り、炭で線を書いたものから、目、鼻をまねて刻みを入れたり、墨で顔を書いたものまで様々です。



嫁の尻を叩くと子供ができてとも言われました。嫁叩きの行事(オカタ打ち)は、富士から浜松にかけて広く行われ、逃げ惑うお嫁さんを追いかけまわすユーモラスな風景も見られるところです。

粥占い

七草粥に続いて小正月に小豆粥をつくって食べるというのも全国的な風習です。七草粥と同じように一種の直会(神前での共食)の食



どんど焼き

どんど焼きは、日本各地に伝わる行事で、本来、村で行う小正月の中心行事であったとも考えられています。県内では、東部・中部に見られ、呼び名はオンベヤキ、サイトヤキなど様々です。

かつてこの火祭りは、子供が中心になって行いました。子供たちは十日前後になると、各家を回って正月のお飾りを集め、その時、地区によっては道祖神を引き回すところもありました。集めたお飾りは、中心となる太竹の回りに積み上げ、中には小屋に仕立てるところもあったそうです。



陰暦の十五日は、満月の日。そして古くはその日が新年の始まりであったと想像されます。

ビッグアップ

住民自ら救出・救助訓練

県内で約七十六万人参加

「地域防災の日(十二月第一日曜日)」の一日、突発地震を想定した地域防災訓練が、県内各地の自主防災組織を主体に繰り広げられました。

阪神・淡路大震災を教訓として、前日からの夜間訓練や住民自らの倒壊家屋からの救出・救助訓練などが行われ、県内で約七十六万人が参加しました。



倒壊家屋からの救出・救助訓練(蒲原町内)

年末特別警戒を視察

石川知事ら警察官を激励
年末に多発する犯罪及び交通事故を予防するため、年末特別警戒と交通安全県民運動が、十二月十日から三十一日まで県下で行われました。



静岡市内の繁華街を視察する石川知事ら



「県大阪事務所を拠点に関西の力を本県に生かしたい」とあいさつした石川知事

関西とのネットワークづくり
関西地区の商工・観光関係者や関西で活躍する本県ゆかりの方々

と本県とのネットワークを強化するため、十一月十四日に大阪市で「関西地区ふじのくに交流会」が開かれました。今年度は、約四百人が集い、情報交換などにより親交を深めました。

交通安全心得

通り慣れた道も要注意

交通事故の実に半数以上が運転開始後三十分以内に発生しています。自宅や会社から遠くない場所「慣れた道」こそ注意が必要です。

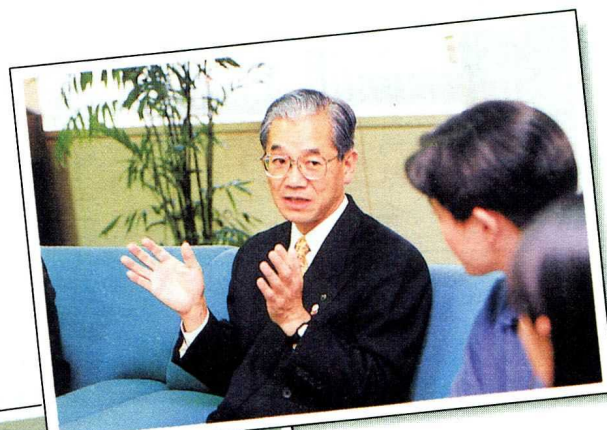
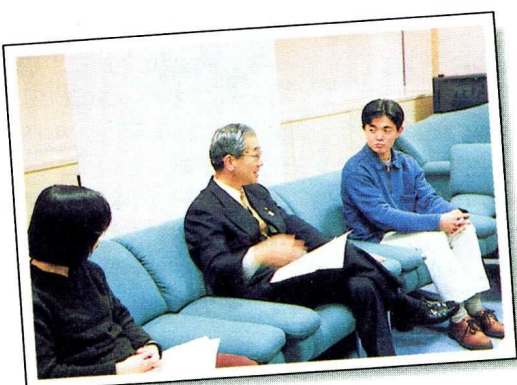


◆確認は 一度と言わず 二度三度◆

1997 新春知事インタビュー

見えてきた、私たちの未来

二十一世紀まであと少し。私たちの未来はどうなるのか、とても気になることです。石川知事に新世紀創造計画にもとづいた県づくりの様子を伺いました。



聞き手 県立大学学生
▼天野 慎之介 森谷 祥平
▼宇佐美 友記 山田 忍
▼高林 とも子 吉成 光代
▼竹松 美香 渡部 奈穂
▼土田 克之

——今日石川知事に二十一世紀に向けた県づくりについてお話を伺いたいと思いますので、よろしくお願い致します。

知事 よろしくお願ひします。新世紀創造計画のなかで、特に私たちが注目すべき点は、何でしょうか。

知事 新世紀創造計画には、さまざまな事業やアイデアが盛り込まれていますが、個々の事業よりも豊かな県づくりのための全体の見取り図というべきものです。そしてその目標は、高齢化や少子化、国際化、情報化といった大きな方向性のもと、個人の努力の結果が異なるような、時代に合った環境づくりにあります。そのために三つの観点から組み立てられていて、その一つが社会資本の整備・充実です。道路や鉄道、下水道、航空網などで、インターネットなどの情報基盤も含まれます。

二つ目は良好な自然環境。生活が物質的に満たされて多様化してきているなかで、あるがままの素晴らしい自然を欲求するようになってきました。三番目は、新たな社会の仕組みを用意することです。子供を生み育てやすい、高齢者が安心して暮らせる社会環境などの仕組みが必要で、こういうものが整って、社会がうまく回っていきます。大きくは、これら三つの公共財を充実しながら変化に対応した静岡県に変えていくという計画です。

——富士山を世界遺産に登録する運動もありましたが、また一方でゴルフ場などの観光開発もされています。富士山を守るための施策としてはどのようなものがあるのでしょうか。

知事 世界遺産には登録上の要件があつて、富士山は自然遺産か歴史遺産かはつきりしないところが、また、登録への運動は富士山の美しさを残したいという願いです。から、これに沿うように県でも昨年、富士山総合環境保全指針を作りました。

特に人工林は、手入れをしないと崩壊や災害につながるため、人工林を自然林に復元しようと、三七六ヘクタールある富士山にちなんで「富士山百年プロジェクト三七六構想」と名づけた自然林復元事業の構想に取り掛かっています。

国家的な財産であり、とても費用のかかることなので、国民的な協力も得て、息長く自然林に戻していこうと考えています。

——県立大学にも車イスの学生がいます。障害者の活躍できる環境づくりはどのように進められているのでしょうか。

知事 まず、働く場所の確保という点では、企業の法律上の雇用率、一・六％は達成できていますが、景気の良くない時には、一般に障害者にしわ寄せがゆきがちです。例えば、企業の下請けなどをしている小規模事業者では注文も減っている。県では昨年「授産事業振興センター」をつくらせて販売の応援などを行っています。また、昨年十月末にオープンした東部地域交流センター「パレット」にも、小規模事業者などをつくらせて展示販売する店を作りました。

——さらに徹底していくために、リエンジニアリングの手法を取り入れています。これは生産性を向上させるために、やり方や考え方を根本的に変えるという発想で、行政の分野でも生産性の向上を目標に、同じ仕事なら短期間で済ませる、事務や文書を半分にするという取り組みが、少しずつ効果を上げています。また、一方で職員の意欲も効率的に大きく影響することから、各種事業の担当ポストに公募制を取り入れています。行政サービスへの需要が多様化に増え続けるなかで、漫然と人員を増やさないでサービスを提供できることを目標にやっています。

——静岡県は人口十万人当たりの人身事故の発生件数が全国一だそうですが、事故を減らす決める手は何かありますか。

知事 交通事故削減には、昨年四月から本格的に取り組んでいます。が、決め手はやはり運転者のマナー、意識の問題ですから、いろいろな機会に意識の向上を訴えています。



——また、分析によると交差点での事故がとて多いので、信号や発光器などの整備もすすめています。その結果、十一月末の統計では昨年比で人身交通事故の総件数で約二千六百件減少していますが、一位を脱出するためにはまだまだです。

また、死亡事故は依然として多いのが現状です。シートベルトをつけていれば六七割は助かったのではないかと分析もあります。から、必ずシートベルトをつけるということを守ってほしいですね。

——最近の少子化傾向の中で、なぜ大学の増設を進めているのでしょうか。

知事 今年四月からスタートする県立大学の看護学部や短期大学部、静岡校は、高齢化の進展で今後ますます増える介護・看護の人材を必要とする社会のニーズに応えるものとするものです。

——四半制の看護学部は、より高度な看護実践ができるような人材を養成する意味があります。また、二〇〇〇年に開学を予定している浜松の新大学では、人文教育とデザイン学部を設け、感性を大切にしたいと特色ある大学づくりをする予定です。

——いずれも、単に増設するのではなく、浜松市にある短期大学の移設や、岡崎市にある厚生保育専門学校の廃止などと振り替える形をとっています。

——地域の情報発信などは、インターネットなども盛んですが、行政改革でも十五年くらい前から、行政改革に取り組んでいました。

風景 爪木崎

下田市



須崎半島の東南端にある爪木崎は、十二月下旬から一月下旬にかけて、約三万本の野水仙が咲き乱れます。周辺は遊歩道が整備され、岬の先端に建つ白亜の灯台からは、大海原に浮かぶ伊豆七島の島々が望めます。うららかな陽光と水仙の甘い香りに包まれながら、ひととき早い春を感じてみてはいかがでしょうか。

ひと 大きな絵本に 愛を込めて

馬野志津子さん(蒲原町)



「いいねに縫いつけられた色とどりの布。できたのは、畳二枚程もある大きな大きな絵本です。これを見て子供たちがわあって声をあげて喜んでくれるの。だからみんな作ってよかったなあって思うんですよ」馬野さんは、三人の小学生を持つお母さん。蒲原町の母親クラブで「布絵本のサークル」のリーダーをしています。メンバーの多くは仕事をしながらの参加です。お話を聞いたり、布に描く場面や構図を決めたり、馬野さんはみんなのまとめ役となつて活動してきました。

「絵本を作るのにかかる時間は約一年。だからずっと長く大切にしていきたいんです。これまでに蒲原の民話と、花さ

産業



これが旬!! ~チンゲンサイ~



県下最大産地である浜松市のチンゲンサイ畑

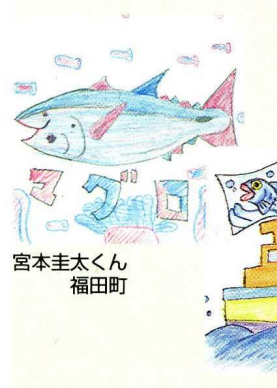
静岡県におけるチンゲンサイの栽培の歴史は新しく、昭和五十年に豊田町で初めて栽培され、五十年の間に栽培面積は約一、五ヘクタールに拡大。現在では県内各地で生産され、県の主要野菜の一つになっています。生産量は年間六千四百トン、生産額は全国第一位を誇ります。種まきから一、三ヶ月で収穫できることから、着実に生産が伸びています。最近では、ひとまわり小さい「ミニチンゲンサイ」も登場しています。チンゲンサイは年間を通して出回っていますが、旬は一、三ヶ月。寒いこれからの時期、煮物、鍋物など何にでもよく合うおすすめの野菜です。

西から 東から

◆日帰りで行く温泉は、思い立ったその日にいくことができるのんびりとした気分になれます。すね。十二月で紹介されていた「天城会館」にもぜひ行ってみたい。です。(静岡市・今井浩子さん) ◆先日、子供と一緒にSLに乗って、本川根の千頭の下まで行ってきました。山の斜面のたぐさのタヌキの置物が迎えてくれたり、道行く人が手をふってくれたり、とても楽しかったです。



——今日伺ったお話で、いろいろな取り組みや構想があるということが分かりました。素晴らしい静岡県が実現できるよう、私達もこれからは協力していききたいと思っています。ありがとうございました。



ライフプランセミナー受講者募集

	沼 津	静 岡	浜 松
日 時	1月26日(日) 13時30分～16時40分	2月2日(日) 13時30分～16時40分	2月16日(日) 13時30分～16時40分
会 場	サンフロント (沼津市魚町)	静岡商工会議所 (静岡市黒金町)	アクティビティ浜松研修 交流センター (浜松市板屋町)
内 容	①「定年後の法律問題」 講師：伊藤博史(弁護士) ②「定年後のマネープラン」 講師：松橋和彦 (三井信託財務相談室長)		①「定年後の法律問題」 講師：伊藤博史(弁護士) ②「定年後の健康対策」 講師：吹野 治(すこやかセンター)
対 象	県内に在住もしくは勤務している40歳以上の方		
定 員	各会場ともに100人 ※入場無料		
締 切	各開催日の10日前まで		
申込み 問合せ	ハガキで(住所、氏名、年齢、職業、電話番号、希望会場を明記) 〒420 静岡市駿府町1-70 しずおか健康長寿財団 「ライフプランセミナー」係 ☎054(253)4221		

伊豆地域就業支援事業
—観光・接客技術—

内容：観光・接客業務に従事するために必要な知識や技術を習得する

対象：全日程出席できる就業希望の女性
期日：1月27日(月)～29日(水)、2月3日(月)～5日(水) (全6日間)

会場：西伊豆町保健増進センター

定員：30人 ※参加無料

受付期間：1月6日(月)～15日(水)

申込み・問合せ：電話、葉書、FAXで住所、氏名、年齢、電話番号を連絡
〒420 静岡市追手町9-6 県就業女性室
☎054(221)2814 FAX 054(221)2039

県中小企業大学国際事業展開講座
—中国進出支援セミナー—

内容：中国内陸部の現状、新税制、中国進出企業幹部による体験談、投資相談
日時：2月13日(木)～14日(金) 9時45分～

会場：県産業経済会館

受付期間：1月13日(月)～2月5日(水)

問合せ：県中小企業総合指導センター

☎054(273)4333

県木造住宅振興研修会

内容：「木と建築と地域文化」

(株)磯崎新アトリエ 藤江秀一氏

日時：2月13日(木) 14時～16時

会場：県女性総合センター

申込み：1月6日(月)～31日(金)

問合せ：県住宅課 ☎054(221)3084

北条早雲シンポジウム
戦国の巨人が私達に何を問うか・語るか

内容：上原まり(講演と琵琶演奏)、シンポジウム(小和田哲男静岡大学教授ほか)、お楽しみ抽選会 ※申込不要・参加無料

日時：1月24日(金) 13時30分～16時30分

会場：沼津市民文化センター大ホール

《北条早雲写真パネル展》

期日：1月7日(火)～12日(日)

会場：東部地域交流プラザ「パレット」

問合せ：沼津市広報広聴課 ☎0559(34)2501

離転職者・在職者・女性のための
職業訓練

地区	訓練種別	訓練職種	定員	期 間	実施会場	申込み 問合せ
東 部	離転職者訓練	溶接	30	2/13～7/25 昼 6カ月	県立沼津技術専門校	最寄りの公共職業安定所
		アーク溶接特別教育	20	2/13～14 昼 2日間	県立沼津技術専門校	☎0559(66)2011
		経理事務	20	2/12～6/8 夜 40日間	沼津技術専門校	最寄りの公共職業安定所
		女性訓練(就業希望者)建築バス	10	1/28～3/28 夜 2カ月	県立清水高等技術専門校	☎0543(45)2032
中 部	離転職者訓練	女性訓練(在職者)パソコン表計算	10	2/3～3/12 昼 17日間	県立清水高等技術専門校	最寄りの公共職業安定所
		機械	20	2/4～ 昼 6カ月	県立沼津技術専門校	☎053(462)5602
西 部	在職者訓練	自動プログラミングセンター	10	1/20～24 夜 5日間	県立沼津技術専門校	☎053(462)5602
		自動旋盤	10	2/24～28 夜 5日間	沼津技術専門校	
		ワイヤカット放電加工機プログラム	10	1/27～31 夜 5日間	沼津技術専門校	
		ワイヤカット放電加工機機械操作	10	2/3～7 夜 5日間	沼津技術専門校	
		FASシステム	10	2/17～28 夜 6日間	沼津技術専門校	
		ガス溶接技術講習	30	2/12～13 昼 2日間	沼津技術専門校	
		経営管理	20	2/12～3/5 夜 4日間	沼津技術専門校	
		シーケンス制御 初級	10	3/3～14 夜 6日間	沼津技術専門校	

催 し

県警察年頭視聞式

内容：分列行進、白バイ・パトカー等車両行進、ヘリコプター編隊飛行、県警音楽隊ドリル演奏、トライアル演技他

日時：1月14日(火) 10時～11時30分(雨天中止) 観覧自由

会場：駿府公園内駿府会館跡地

問合せ：県警察本部広報課 ☎054(271)0110

第6回暮らしのアイデア
フェスティバル

内容：生活用品再活用作品展示・作り方指導(23日～25日)、包丁研ぎ(23日・24日)、家電品相談(25日)

日時：1月23日(木)～25日(土)

各10時～19時(最終日は17時まで)

会場：松坂屋静岡店北館5階カトレヤサロン

問合せ：県不用品活用バンク運営協議会 ☎054(251)3586

県立水泳場(静岡市西ヶ谷)
新春一日無料解放

対象：小学校5・6年生以上で50m以上泳げる方(小学生は18歳以上の方が同伴し、3人まで入場可能)

※スイミングキャップ着用

期日：1月12日(日) 10時～16時45分

問合せ：県立水泳場 ☎054(296)3675

県立清水高等技能専門学校技能祭

内容：展示即売(ダンベル、鉄アレイ、盆栽台、タンス他)実習・実演(マシニングセンタ、パソコンゲーム)、物作り教室(針金細工、写真立て、花立て他)

日時：1月26日(日) 10時～13時

会場・問合せ：県立清水高等技能専門学校(清水市楠) ☎0543(45)2032

第5回県工業高校生ロボット競技大会
—ロボットバトル—

内容：県内の工業高校生が、サッカー競技を行うロボットを製作し、模型のサッカー場の中で、得点を競うものです。

日時：1月12日(日) 10時～16時

会場：焼津市総合体育館(焼津市保福島)

問合せ：県立沼津工業高等学校

☎0559(31)0343

舞台芸術公演

公 演 名	日 時	会 場	入 場 料
アントニオ・ガデア 舞踊団 「カルメン」	2月12日(水) 19:00～	磐田市市民文化会館	S席 9,500円 A席 7,500円 (指定席)
劇団青年団二木立公演 「カクするココロ」 「北限の狼」	2月15日出 16日(日) ※両日共 カク 16:00～ 北 限 19:00～	サールナート ホール	一般 2,500円 高校生以下 2,000円 ※2公演セット券 一般 4,000円 高校生以下 3,000円
ガラスの動物園 出演：南果歩 香川照之他	3月19日(水) 18:30～	静岡市市民文化会館 中ホール	4,000円 (指定席)

申込み・問合せ：(財)県文化財団

☎054(272)8844

そ の 他

安心を つなぐかけ橋 110番
相談は 真心ダイヤル #9110

～1月10日は「110番の日」～

110番はあなたを守る緊急の警察通報用電話です。「間違え」や「いたずら」で、緊急時の110番電話がふさがっては大変です。正しく利用してください。

平成8年8月に新通信指令システムが完成し、県内何処からかけても、全て「110番センター静岡」で受理しています。

110番係員が(1)何がありましたか？(2)場所はどこですか？(3)犯人の特徴は？等尋ねます。落ち着いてお話しください。

各種の照会、相談等お急ぎでない用件は県警ふれあい相談室(☎054(254)9110又は#9110)をご利用ください。

問合せ：県警察本部通信指令室

☎054(271)0110

お持ちのパスポートの
有効期限をご存じですか！

訪問する国、目的により必要とされるパスポートの残存有効期間が異なります。有効期間が1年未満になれば新たなパスポートを申請(切替申請)できます。パスポートの交付は、申請日翌日から数えて(閉庁日を除く)、中部旅券センター(静岡)で5日目、その他の旅券窓口で7日目です。

訪問国、目的により渡航前の査証手続きが必要な場合もあります。パスポートの申請はゆとりをもって行いましょう。

問合せ先：県国際課 ☎054(221)2232又は中部旅券センター ☎054(252)0055

県立観音山少年自然の家
利用申込受付

南アルプスに連なる引佐の山々の山懐で山頂登山、冒険ラリー、オリエンテーリング、ボージャー、沢遊び、キャンプファイアー等多彩な自然体験ができます。

対象：子ども会や少年団体、家族、青年、婦人、サークル等のグループ

利用可能日：4月1日(火)から1年間

問合せ：県立観音山少年自然の家

☎053(545)0111

蒲原警察署代表電話番号変更
下4ケタ『0110』に

蒲原警察署の代表電話番号が1月10日(金)(110番の日)正午から新しい電話番号0543(85)0110番に変更となります。今回の変更で、本部と29警察署すべての電話番号が『0110』に統一されます。

問合せ：県警察本部総務課

☎054(271)0110

「道づくり」に対する公募意見を
集約した冊子の無料配布

平成10年度からスタートする新しい道路計画をつくるため、昨年5月から7にかけて、道路審議会に設けた「21世紀のまちを考える委員会」がみなさんから「まち」に対する御意見を募集したところ、全国の約3万5千人の方から11万件を超える御意見をお寄せいただきました。いただいた御意見を分析・検討し、とりまとめた冊子「ボイス・レポート」を希望者の方に差し上げています。

問合せ：建設省中部地方建設局静岡国道工事事務所調査課 ☎054(250)8904

県土木部道路企画課 ☎054(221)3338

企業ガイダンスしずおか

事業主団体代表者等による業界の現状、求める人材、採用状況等の説明

日時：1月17日(金) 13時30分～15時30分

会場：県女性総合センター(静岡市馬淵)

対象：大学3年生、短大・専修1年生

問合せ：県職業安定課 ☎054(221)2838

1月の巡回交通事故相談
—無料・秘密厳守—

8日(水) 熱海市役所
10日(金) 細江町役場
13日(月) 伊東市役所
14日(火) 東部地域交流プラザ「パレット」
17日(金) 焼津市役所
20日(月) 函南町役場
21日(火) 相良町役場
24日(金) 下田市役所
27日(月) 大東町保健福祉センター
時間：各10時～15時
問合せ：県交通事故相談所 ☎054(252)9990

1月の主な行事

- 1日 元日
- 6日 第29回県青年の船帰着式(清水港)
- 10日 110番の日
- 11日 はたちの献血キャンペーン(～2月10日)
- 14日 県警察年頭視聞式(静岡市駿府公園)
- 15日 成人の日
平和祈念展(松坂屋静岡店)(～19日)
- 25日 青少年国際交流大会'97
(ツインメッセ静岡)
親子おさかな料理教室
(伊東市渚公園駐車場)(～26日)
- 26日 文化財防火デー
県立清水高等技能専門学校(清水市)技能祭

ホームページ「静岡県」で静岡情報発信中!!

アドレス <http://www.pref.shizuoka.jp/>
インターネット端末一般公開中 9:00～16:30
県庁西館2階 県民サービスセンター

平成9年度県政モニター募集!!

応募資格：県内在住の県政に関心のある20歳以上で、年間を通じて県政モニターの仕事ができる方(常勤の公務員、地方公共団体の議会議員及び平成4年度以降の県政モニター経験者を除く)。

内 容：①アンケート調査 ②課題意見調査(作文形式による) ③随時意見 ④モニター委嘱式及び会議への出席 ※謝礼あり



試験

平成9年度県立大学短期大学部
一般入学試験

試験日：3月2日(日) 10時～
試験科目：学力検査
受験料：17,000円
受付期間：1月30日(木)～2月7日(金)
合格発表日：3月11日(火)
問合せ：県立大学短期大学部 学生課
☎053(454)4486

県立専門校入校試験
—中学校卒業(見込み)の方—

校名・問合せ	試験科目	募集定員	訓練期間
県立清水高等技能専門校(清水市楠) ☎0543(45)2032	機 械 科	25 人	2 年
	電 気 科	20	
	デザイン木工科		
	設 備 技 術 科		
県立浜松技能開発専門校(浜松市小池町) ☎053(462)5603	機 械 科	20	1 年
	金 属 成 型 科		
	設 備 配 管 科	10	

試験日：2月13日(木)及び14日(金)
受付期間：1月29日(水)～2月5日(水)

ポリテクカレッジ浜松(入学試験)
学生募集

試験日：2月18日(木)
受付期間：1月7日(火)～22日(水)
問合せ：浜松職業能力開発短期大学校
☎053(441)4444

募集

静岡県学生会館富士寮
寮生募集

応募資格：県内に本拠を有し、東京都及びその近辺の大学、短大、専修学校在学する昼間部男子学生
在寮期間：1年間(延長可)
募集人員：20人
建物：鉄筋コンクリート4階建 洋室2人部屋(3坪強)
経費：寮費一月額3万9千円(朝・夕の食事代含む)入寮金2万円 保証金3万円(原則退寮時に返還)
受付期間：2月1日(土)～3月10日(月)
申込み：(財)静岡県学生会館(東京都文京区大塚) ☎03(3941)0584

県立あしたか職業訓練校生徒募集

訓練科目	募集定員	応募資格	期間	訓練内容
機械科	10人	身体障害者(高卒)	1年	NC旋盤の加工技術やプログラム及びパソコン操作やCAD
コンピュータ科	5人			プログラムやシステム設計、簿記やワープロ検定合格を目指す

年齢は原則として35歳までの方
締切：1月31日(金)
問合せ：最寄りの公共職業安定所
県立あしたか職業訓練校 ☎0559(24)4380

きらめき創作ステージ
—参加無料—

内容：特殊教育諸学校の幼児・児童・生徒が、創作の喜びを味わうとともに、豊かな感性を培い、明るくたくましく生きる力を身に付ける。
対象：幼児、小・中校生、盲・聾・養護生・保護者、高校生ボランティア
日時：2月8日(土) 9時30分～15時
会場：沼津市千本プラザ
定員：200名
受付期間：1月14日(火)まで
申込み・問合せ：県立沼津聾学校
〒410 沼津市泉町4-1 ☎0559(21)3398

平成9・10年度
教育改革モニター募集

文部省から依頼するテーマや教育に関してお気づきの点について、意見をまとめて文書で提出していただきます。
応募資格：20歳以上の方(一部制限あり)
定員：15人(任期は4月から2年間)
謝礼等：記念品、文部省関係広報資料
締切：1月17日(金) 消印有効
申込み・問合せ：申込書を県教育委員会生涯学習課へ 〒420 静岡市追手町9-6 ☎054(221)3115 ※申込書は東部・中部・西部教育事務所でも配布
第6回ハッピーウィークエンド
イン 三ヶ日

家族や職場の仲間間でバードウォッチング等の活動をし週末のふれあいを楽しむ。
対象：家族や職場・地域のサークル等の小グループ 5人～10人以内
期日：2月8日(土)～9日(日)
定員：12グループ(先着順)
費用：一人2,200円
受付期間：1月4日(土)～15日(水)
会場・申込み・問合せ：県立三ヶ日青年の家 ☎053(526)7156

分譲住宅申込受付
—サンポート・焼津—

専有面積：55.93㎡～115.74㎡
譲渡予定価額：2,190万円～4,980万円
受付期間：1月18日(土)～26日(日)
問合せ：県住宅供給公社分譲住宅課
☎054(255)4146

福祉のまちづくり啓発冊子
「Beside(ビサイド)」申込募集

まちの中で障害者や高齢者などに会ったとき、手助けの方法をイラストを交えて紹介した冊子「Beside(ビサイド)」を希望者に無料(送料実費)で配布します。
申込み・問合せ：申込者の宛名を明記した返信用封筒(切手190円分を貼付)を同封し郵送で 〒420 静岡市追手町9-6 県障害福祉課 ☎054(221)3319

県立高等学校講師募集
—随時受付—

募集：全教科(国語、社会、数学、理科、英語、保健、家庭、農業、工業、商業、芸術)
応募資格：高等学校教諭免許取得(見込み)の方。年齢制限はありません。
申込み・問合せ：県教育委員会高校教育課 ☎054(221)3118

県立高等学校非常勤実習助手(理科)募集
—随時受付—

内容：随時受付し登録します。必要資格、年齢制限はありません。
申込み・問合せ：県教育委員会高校教育課 ☎054(221)3118

全国野鳥保護のつどいキャッチフレーズ
及びシンボルマーク募集
—平成10年浜北森林公園で開催—

応募規格：①官製ハガキ1枚に1点②キャッチフレーズとシンボルマークは別々に記入③自作未発表作品④1人複数応募可賞：最優秀10万円1点、優秀1万円5点
応募方法：住所、氏名、年齢、性別、職業(又は学校名・学年)電話番号を明記
締切：2月7日(金) 当日消印有効
応募先・問合せ：〒420 静岡市追手町9-6 県自然保護課 ☎054(221)2848

第50回全国植樹祭の開催テーマ募集
—平成11年西天城高原で開催—

応募規格：①官製ハガキ1枚にテーマ案1点②自作未発表作品③1人複数応募可賞：最優秀5万円1点、優秀1万円5点
応募方法：住所、氏名、年齢、職業(学校名)電話番号を明記
締切：2月10日(月) 当日消印有効
応募先・問合せ：〒420 静岡市追手町9-6 県林政課 ☎054(221)2662

第48回県勤労者総合美術展作品募集

絵画・書・写真・彫刻・手工芸の作品を募集します。※1人1点、未発表作品
応募資格：県内在勤の方とその家族(学生除く)
受付期間：1月10日(金)～2月10日(月)
問合せ：県労働者福祉協議会
☎054(221)6241

第9回福祉作文コンクール

テーマ：ボランティアや介護の体験、福祉についての意見・感想
応募資格：県内在住・勤務の18歳以上の方
応募規格：400字詰原稿用紙3～10枚
※題名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入
締切：1月17日(金)
応募先：(財)県労働者福祉基金協会
☎054(251)4144

沼津インキュベーターセンター
入居者募集

内容：工場仕様室4部屋、研究室仕様室6部屋
対象者：創業5年未満の中小企業者
期日：1月6日(月)～2月14日(金)
問合せ：県新産業立地室 ☎054(221)3262

講座・講演会

地方分権推進セミナー受講者募集
—“中核市時代”のまちとくらし—

童門冬二氏(作家)による講演「歴史にみる地方分権」とパネルディスカッションを開催。地方分権の推進の運動を盛り上げていきます。
日時：1月25日(土) 13時～16時
会場：アクトシティ浜松コンgresセンター
定員：300人(申込順) ※参加無料
申込み・問合せ：電話又はFAXで住所・氏名・電話番号を連絡 〒420 静岡市追手町9-6 県市町村課 ☎054(221)2054 FAX 054(221)2776

省資源・省エネルギーを考える
県民のつどい

内容：活動事例発表(4団体)、講演「地球にやさしいまちづくり～資源とエネルギーを大切に～」ダニエル・カール氏
日時：1月29日(水) 13時～16時
会場：しずぎんホール・ユーフォニア
定員：450人(申込順) ※参加無料
申込み：県資源エネルギー課
☎054(221)3498

街道文化セミナー受講者募集
—下田街道と狩野川にみる歴史と生活文化—

講師にTBSラジオパーソナリティ榎本勝起氏等を迎え講演やセミナーを開催
日時：2月8日(土) 13時～16時
会場：修善寺町生いききプラザ
定員：400人 ※参加無料(要入場整理券)
受付期間：1月10日(金)～24日(金)
申込み：ハガキで住所、氏名、電話番号を連絡 〒420 静岡市追手町9-6 県文化事業課 ☎054(221)3539

みんなで考えよう
「食生活と健康」の集い参加者募集

講演会「ダイエットとごはん食」
—お弁当ダイエット—
講師：女子栄養大学教授 足立己幸氏
日時：2月15日(土) 13時30分～16時
会場：県総合社会福祉会館
定員：250人(申込順) ※参加無料
受付期間：1月6日(月)～29日(水)
申込み・問合せ：ハガキに住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を明記
〒420 静岡市鷹匠2-7-2 県米穀協会
☎054(253)3185

テレビ広報番組案内 <1月>

しずおか土曜望遠鏡
SBSテレビ

土曜10:00～10:30

11日 旬を感じて [手話]
～静岡のおさかな～
〈ホッとHOT・静岡〉
森町：体験の里「アクティ森」



体験の里「アクティ森」

25日 家族で出かけよう
～伊豆の観光再発見～

静岡ぐっと情報局
テレビ静岡

土曜11:15～11:30

11日 はたちのメモリー [手話]
～みんなで持とうよ献血手帳～
18日 あなたにもできる! [手話]
～阪神大震災からの教訓～
25日 まごころをごちそうさま
～学校給食の取り組み～

さんさん静岡
静岡第一テレビ

土曜11:45～12:00

11日 湯の町を薬膳で活性化
～修善寺町～ [手話]
18日 ふるさとの風景・ため池
～掛川市～ [手話]
25日 伝統の舞・梅津神楽
～本川根町～



梅津神楽

ねっとわあく静岡
静岡朝日テレビ

月～金6:55～6:59

7日(火) 県立美術館だより
～ロダン・ウイング～
8日(水) 身近な県政みて歩き
～農業試験場～
9日(木) あなたを守る110番
10日(金) 暮らしのまめ知識
14日(火) 国際交流を考えよう
15日(水) はたちの献血
16日(木) 地酒どころ・静岡
17日(金) 見直そう我が家の地震対策
21日(火) 脱出しようワーストワン
22日(水) 伝統の技・注染
23日(木) 守り伝えてみんなの財産
24日(金) 中川根町立中央小学校
28日(火) 北斗の泉・伊豆長岡町
29日(水) マンガでわかる静岡県史
30日(木) 梅まつり・初春の熱海
31日(金) 県民だより2月号案内
●毎週月曜日はお知らせ
1月5日まではお休みです

文字放送を
ご存じですか

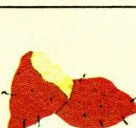
<文字放送とは>
テレビ電波のゆとりを利用し、文字や図形による情報を提供するメディアです。
<どうしたら見ることができるの>
文字放送内蔵型テレビや専用アダプターの設置によって見ることができます。
<見ることで見られるテレビ局は>
静岡県では、NHKとSBS静岡放送の2局です。
<どんな放送をやっているの>
お天気情報やニュース、観光情報などいろいろと役立つ情報を提供しています。

◎静岡県からは、県からのお知らせやイベント情報などを提供しています。

■こんにちは県庁です/SBSラジオ*月～金/9:00～9:10 ■しずおかデیلیーメッセージ/K-MIX*月～金/19:55～20:00*土/8:55～9:00

●県警ふれあい相談室 ☎054(254)9110*受付時間:月～金曜/8時30分～17時15分 ●“あなたのこころ元気ですか”精神保健福祉センター「こころの相談専用電話」 ☎0543(67)5560*受付時間:月～金曜/9時～16時



①	②		③		④	⑤
⑥			⑦	⑧		
⑨			⑩			
				⑪	⑫	
⑬			⑭			
		⑮			⑯	⑰
⑱				⑲		

ヒントやものしりメモを参考に、クロスワードを解いてください。□の6文字を組み合わせて、下の6つの○の中に入るある言葉を答えてください。

「○○○○○○フェスティバル」

正解者の中から抽選で40名の方に、静岡県米穀協会からお米(ふじの舞)5キロをお贈りします。

ヒント 今年の秋、文学の地として名高い伊豆・県東部地域で○○○○○○フェスティバルが開催されます。

- タテのカギ**
- ①県内にある6つの新幹線の駅で東京が一番近いのは、○○○駅です。
 - ②大きさ、寸法のことを英語でいうと?
 - ③昨年11月、浜松市で「第1回国際○○○コンクール in SHIZUOKA」が開催されました。
 - ④鉄棒で○○あがりかできたよ!
 - ⑤8月21日は○○○○の日。静岡県の誕生日です。
 - ⑧物の外形や物事の概要。
 - ⑫夢を乗せて羽ばたきます。2003年静岡○○○○開港。
 - ⑬清水(きよみず)の○○○から飛び降りる。
 - ⑭地震、カミナリ、○○、オヤジ。
 - ⑮人の○○見て、わが○○直せ。
 - ⑰人に意欲を持たせるようにしむけることを「○○を巻く」と言います。

- ヨコのカギ**
- ①夏の朝咲く花は?
 - ④○○は百薬の長。
 - ⑥お祝いごとがあるときに食べる魚です。
 - ⑦下くちばしに大きな袋があり、魚をすくって捕らえる鳥は?
 - ⑨すべてなかったことにすることを、「○○に流す」と言います。
 - ⑩カトレア、シンビジウムは○○科の花です。
 - ⑪家に伝わっている教訓のこと。
 - ⑬ハマチが成長すると○○になります。
 - ⑭想像上のこと。
 - ⑮平成6年、静岡県で開発されたお米の品種は「○○の舞」。(ものしりメモにヒントがあります)
 - ⑯縁故。手づる。
 - ⑰「田舎裏」の読みかたは?
 - ⑲一年で夜がもっとも長く、昼がもっとも短い日のこと。



十二月号の答えと当選者
答え DHA
応募総数二千五百九通、正解者二千四百九十通の中から、次の二

応募方法／ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢(学年)、職業、電話番号を明記のうえ、〒410-0000 静岡市追手町九一六 県広報課「県民だよりクイズ係」までお送りください。(パソコン通信でも受け付けます) 一月十日必着。当選者の発表は二月号で行います。
なお、今月号で良かった点、悪かった点、そのほか、ご意見、ご要望、身近な話題なども書き添えてください。



十名の方に静岡県おさかな普及協議会から「マグロの缶詰セット」をお贈りしました。

■当選者(敬称略)

岩田利久(伊東市) 渡辺はる江(沼津市) 渡辺晴美(沼津市) 長尾景昭(御殿場市) 杉山俊雄(富士市) 加茂弘子(富士市) 清水相司(富士市) 佐野巴(清水市) 出雲照江(静岡市) 中島愛子(静岡市) 堀井洋美(藤枝市) 小松原伸二(島田市) 岩堀静江(吉田町) 黒田佳恵(小笠町) 内田文子(菊川町) 永田裕子(浅羽町) 宮本靖子(福田町) 田端米(浜松市) 太田里佳(浜松市) 神谷久子(浜北市)

パソコン通信 "NIFTY-Serve ID:SHB00812" "PC-VAN ID:SZKENCHO"

ものしりメモ

▼お米は、粒が長くて大きいインディカ米と、日本で主に作られている粒が短いジャポニカ米とに分けられます。

▼また、この他にも、もち米とうるち米という分け方や、白米と赤米と黒米といった、いろいろな分け方があります。

▼さらに細かい特徴を分類したものを品種といい、それぞれに名前がついています。

▼品種の代表的なものに、福井県で開発された「コシヒカリ」、宮城県の「ササニシキ」、秋田県の「あきたこまち」がありますが、現在でも全国各地でお米の

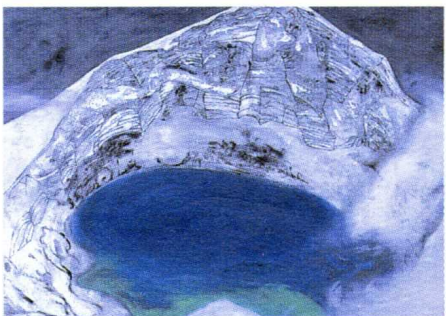


開発が進められています。

▼静岡県の農業試験場でも、本県の気候・風土に適した品種の研究を進めてきました。平成六年には、おいしくて作りやすい品種「ふじの舞」を開発し、現在商品化に向けて取り組んでいます。

▼今後、お米屋さんの店頭にならんでいるところを見たら、静岡県のお米としてかわいがってください。

美術講座／一月十八日(土)
午後二時～講座室(無料)
「ロダンとミケランジェロ」
講師・南美幸(当館学芸員)



大賞 今井貴史《Aquamarine *蔵王篇*》

県立美術館だより

第十三回

富嶽ビエンナーレ展

一月五日(日)～二十六日(日)
入賞十三点を含む
百七十二点を展示

休館日／毎週月曜日
臨時休館日／十二月二十八日(土)
～平成九年一月四日(土)
次回予告／

「狩野探幽の絵画」
江戸初期、抒情美の世界

二月一日(土)～三月九日(日)
県立美術館／静岡市谷田五三二
☎〇五四(263)五七五五

編集室から

明けましておめでとうございます。今年も頑張りますので、皆さん応援してください。(編集室一同)

◎お詫び
前月号の骨髄バンクに関する記事で、問い合わせ先(県医務課)の電話番号がまちがっていました。訂正してお詫びします。

(正)フリーダイヤル
〇二二〇三四四一〇六

★表紙の絵

表紙の絵は、富士山を愛し、その天衣無縫の面風で見る人を魅了する佐藤勝彦氏の描いた富士山と梅の絵です。平成四年度県の観光キャンペーン・ポスターにも使われました。